

「プチぼえむ」改め

# 珈琲共和国

4 月 号

発行日 1972年4月1日  
 発行所 (株)日本珈琲販売共同機構  
 東京都 杉並区阿佐谷北 2-  
 2-5 電 (330) 8 5 4 3  
 編集人 玉野登志男  
 編集所 東京都新宿区上落合 1-5  
 -5ハイツ長谷川801  
 みずほ企画社内  
 1部30円 予20円

## 「コーヒー党は宣言する」

### 《序》誤れる神話を破壊せよ

わが国におけるコーヒーの消費状況を生豆の輸入量からみてみると、40年度には18、650tであったものが、5年後の45年には81、400tと4倍以上にもなってきた。

従来、コーヒーは喫茶店で飲むものと相場が決まっていたのだが、最近では生活様式の洋風化に伴って家庭でも手軽にコーヒーが飲まれるようになってきており、それがコーヒーの消費拡大の原動力となりつつある。

しかし、残念なことには

現在家庭で飲まれるコーヒーの大半はインスタントコーヒーであり、レギュラーコーヒーの占める割合は僅か5パーセント程度にしかすぎない。味の上で、これ程歴然たる差がありながら、何故レギュラーコーヒーが、インスタントコーヒーを押さえることができないのであろうか。

それは、コーヒーのいれ方には難しいコツがあるとか、サイホンのように面倒な器具を使わなければ、おいしいコーヒーはいれられないという誤った神話を私たちが信じこんでいるからである。

コーヒーは、単なる農産物である。コーヒーをいれるということとは、コーヒーの成分を湯に溶かすだけの単純な作業にしか過ぎないのである。

私たちは、次号よりその誤れる神話の一つ一つを、科学的な根拠に基づきながら打破してゆきたい。そして、コーヒーを神格化することによって暴利を得ていた珈琲業者や、知っただかぶりをしていた珈琲評論家の大先生や、それを真に受けて誤った神話をまき散らしたマスコミたちにもそのような時代の去ったことを知らしめたいと思うのである。

ぼえむ吉祥寺店  
4月1日オープン!



☆ コーヒー専門店 吉祥寺に 進出

# 4月の展覧会予告

### ●吉祥寺店

4月1日～5月1日

『ルネ・マグリット石版画展』

午前11時～午後11時

### ●下高井戸店

3月15日～5月1日

『12人の作家による私のマリリン・モンロー展』

午前10時～午後1時

### ●永福町店

4月1日～5月1日

『日和崎尊夫―薔薇刑』

### ●阿佐谷店東館

4月1日～5月1日

『アート・ポスター展』

午前9時～午後0時

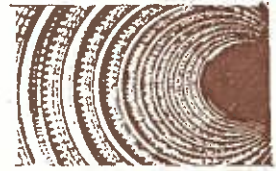
### ●阿佐谷店西館

4月5日～5月1日

『リトグラフ・シルクスクリン・木版と絵による八木康夫・原田克美・



リトグラフ 西村繁男



### 西村繁男新作発表会

前編・後編あり

春らんまん

くるしゅうない

春よこい……春よこい……

### 貸画廊のお知らせ

ぼえむチェーンの各店では、店内を貸画廊として提供しています。

各店での個展に際しては珈琲共和国への記事けいさい料5千円のはかに  
●阿佐谷店東館 2万円

●阿佐谷店西館 3万円

●永福町店 1万円

●下高井戸店 2万5千円

●吉祥寺店 2万円

をいただきます。期間は原則として毎月第一水曜日から1か月間とします。お申し込みは山内企画(電330-18543)へどうぞ。

### 版画展案内

●プリント・アートセンター

午前10時～午後6時

(日曜定休)

(567) 7868

『北川民次リトグラフ展』

3月27日～4月8日

『富張広司個展』

4月10日～4月15日

『片山未加銅版画展』

4月17日～4月28日

●ギャラリー・デコール

午前11時～午後8時(月曜定休)

(572) 9685

『イマジージュ・ファンタスティック』幻想作家展

○各店とも火曜日は定休日です。



DON'T BUT DO!

阿佐谷村田洋子

私に語るな

生きていくたやすさを

春風が夏の若芽をはくくむ

様に

この世は流れていくなどと

私に告げるな

人生のとろける様に甘美な

いざないを

そんなにも希望に輝く声で

朝日は歌うなどと

そうでなく

私に語れ

生き続ける静けさを

樹木は葉を落として冬を呼

ぶ様に  
季節の最後はいつも孤独で  
ある事を

そうでなく

私に告げる

すべてが許される青春はた

そがれつつあると

それでも自分の心にとどま

っている反逆性を

痛い程のやさしさを

耳たぶの先まで感覚してい

るこの瞬間

私はためらわずに言わなけ

ればいけない

愛するひとり ひとりに

X X X

♪詩とは何ぞや」というこ

とは、いかなる詩論家にも

語りつくせるものではない

繊細華麗な詩、雄渾な詩、

さまざまあっていい。しか

し情報過剰の現代にあって

は、詩もまた多様にみえて  
も案外底が浅く画一化され

平板なものが多い。言葉に  
おいても原点に帰れといい  
たい。この意味で今号は村

# 大手拓次詩集

田さんの詩を推す。他に小  
石川啄、富永隆一両氏に注  
目。(西 卓)

出演 劇団八風

時 4月11日(火)午後7時より

所 ぼえむ下高井戸店



4月11日の詩の朗読会は

大正から昭和の初期にかけ

て、めくるめく言葉の香氣

をあふれさせた詩人、大手

拓次の作品を特集します。

拓次の言葉は、色彩と流動

感にあふれ、そのイメージ

は、深く沈んだ水彩画の、

水にじんだ描線のように  
優しくやわらかに発想しま

## 第 4 回

●朗読される大手拓次の

作品

はなれた言葉

夜 全

手の色の相

あをい馬

窓をあけてください

そよぐ幻影

名も知らない女へ

足をみがく男

言葉の香氣

}} 休憩

みどり色の蛇

曼陀羅を食ふ縞馬

夜唇

香水夜話

うしろをむいた薔薇

手をのばす薔薇

ばらのあしをと

(写真は石橋健次)





# 珈琲友の会だより

## 友の会協賛店紹介 (3)

### スマイレ洋品店



阿佐谷  
南口パー  
ルセンタ  
ー中央に  
ある婦人  
洋品店。  
ヤング  
ミセス中  
心に、落



ちつとした趣味の高級婦人服をそろえている。やはり、主人の浜野氏の仕入の方針か、下手に流行をおうことなく、内容のある品物で独特のふんいきをかもし出している。店の奥には民芸品のコーナーもある。何か知らぬうちに楽しめるお店。  
電(311)3578

午前10時~午後9時  
(写真はスマイレ洋品店)

### ぼえむチエーン

#### 所在地及び電話番号

阿佐谷店東館  
国電阿佐谷駅前西友ス  
ト  
アー夏 (330)5378  
阿佐谷店西館  
国電阿佐谷駅北口高梁線

通 (338)3335  
下高井戸店

京王線下高井戸駅前日大  
通 (323)6305

永福町店

井の頭線永福町駅前三井  
銀行夏 (321)0431

吉祥寺店

国電吉祥寺駅北口三菱信

託銀行横 0422(22)  
7040

☆

### お客様へ

#### お知らせ

〇ミニコミ情報網、常連様  
コーナーは今回はおやすみ

### ミニコミ情報網 演劇案内

(指定)

演出集団「Q」企画  
S・オケシー作・小  
田島雄志訳 岩田治彦・  
飯田信之演出  
『狙撃兵の影』—19  
20・アイルランド—  
4月6日~16日(12日休  
演) 6時30分開演・日  
曜マチネーのみ1時半  
料金 1,200円(全席

所新宿紀伊国屋ホール  
出演者……伊藤豪・草薙  
幸二郎・佐々木すみ江・  
島田敬一・庄司永建・  
菅原チネ子・関口久美  
子・千田隼生・田村寿  
子・内藤武敏・中西妙  
子・中の文吾・成合晃  
山田昭一ほか

### 原稿募集

珈琲共和国の係では、読者のサロンに掲載する詩やミニコミ情報網の素材を広く読者のみな様より募集しております。原稿は下記要領でどしどしお送りください。

■原稿紙使用。原稿に住所氏名、年齢、職業を記入。  
■送り先  
新宿区上落合1-5-5  
ハイツ長谷川801  
みづは企画珈琲共和国係

### ◎名称変更のお知らせ

今までご愛読いただき  
ました「プチぼえむ」は今  
度の号より「珈琲共和国」  
と名称を改めて続行いた  
します。 「プチぼえむ」  
同様にご愛読くださいます  
ようお願いいたします。